

「ウィンドウズXPからの移行状況調査」調査結果報告

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長、山本長行）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に「ウィンドウズXPからの移行状況調査」についての調査を行い、分析結果をまとめましたのでご報告いたします。詳細につきましては別添資料をご覧ください。

調査目的 ウィンドウズXPからの移行状況に関する調査
調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636 社
回収状況 回収数 610 社（回収率 95.9%）
調査時期 平成 26 年 3 月 3 日～7 日
調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査結果の要旨

①約9割がウィンドウズXPのサポート終了を知っている

ウィンドウズXPのサポートが平成26年4月に終了することを知っているかたずねたところ、「サポートの終了を知っており、その後の影響についても理解している」が60.6%と最も多く、次いで「なんとなく知っている」が28.9%となり、「知らない」は10.6%であった。

②XPからの移行を完全に終えたのは3割に満たない

ウィンドウズXPからの移行状況をたずねたところ、「一部XPが残っている」が38.2%と最も多く、次いで「完全に移行した（XPは既に無い）」が28.8%となり、「移行していない」は18.8%であった。

③未だに約半数がXPからの買い替えを検討中

サポートの終了期限までにXPを替えるかどうかたずねたところ、「検討中である」が49.0%と最も多く、次いで「替える（替える予定である）」が37.1%となり、「替えない」が最も少ない13.9%であった。

④XPを替えない理由は“必要性を感じていない”が4割

XPを替えない理由をたずねたところ、「替える必要性を感じていないから」が41.7%と最も多く、次いで「費用がかかるから」が27.1%となった。3番目には、自らでは対応が困難な「ソフトが対応していないから」（22.9%）が挙げられた。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場 2-7-1 浜松商工会議所会館 9 階
静岡県西部地域しんきん経済研究所 神谷 TEL 053-452-1510